

だれかのために叶える夢

野々市市立御園小学校五年 藤原 歩美

私は補助犬訓練士になりたいです。補助犬とは、どこか体の一部が不自由な人をお手伝いする犬です。目の不自由な人に、段差や曲がり角を教える「盲導犬」手足の不自由な人に代わって、物を取ったりドアを開けたりする「介助犬」耳が不自由な人に代わって音を聞き、それを教える「聴導犬」これらの犬を育てることが、補助犬訓練士の役目です。

補助犬訓練士になりたいと思った理由は、補助犬の本を読んだことがきっかけです。読書が好きな友達がおすすめてくれた本があつて、その中のノンフィクションの本が私は気に入りました。ノンフィクションの本に、補助犬の話があり、それがきっかけで補助犬に興味を持ちました。その本には、補助犬を育てる仕事である補助犬訓練士についても書いてありました。訓練士が気をつけることなども書いてあり、私は本を読んでいる内に、

補助犬訓練士になりたいと思うようになりました。

目や手足、耳の不自由な方は私達の思っているよりも何倍も苦しい生活をしていて、なにより「普通」の人になれなくて、つらいということも本で理解した事です。昔は毎日なやみでいっぱいだった方も、補助犬といっしょにくらすようになったことで、笑顔で楽しくくらすようになったそうです。補助犬としての役わりだけでなく、犬はかわいいので心のいやしにもなるのかなと思いました。人が笑顔になることは、だれでもうれしい事ですすよね。その点もふくめて補助犬訓練士になりたいと思いました。

補助犬訓練士になるためには、専門学校にかよったり、盲導育成団体の職員になる必要があるそうです。他に、福祉に關係する大学に入るという方法もあるそうです。そして、盲導犬を育てる場合は

目の不自由な人に歩く指導をする資格を持つてるとよいそうです。

私は補助犬訓練士になるために、犬や補助犬について調べたり、しよう害者についての本を読んだりして、もつと勉強しようと思います。訓練士になるためには、たくさんの方の努力が必要なので、まだまだ知識はいけれど、私も努力をして、たくさんの方の知識を身につけていきたいです。そして、しよう害者差別については、よりたくさんの方に考えてほしいです。補助犬についての理解をよびかけて、補助犬やしよう害者の方たちのことをもつと知ってもらいたいです。

もしも私が補助犬訓練士になれたのなら、一匹でも多くの補助犬を育てたいと思っています。そして、一人でも多くのしよう害者の方に笑顔をとってもらいたいです。

藤原 歩美 のライフプラン

将来なにになりたいか? **補助犬 訓練士**
その理由: **体が不自由な人に笑顔をとどけたから。**

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2019年	11(小5)	補助犬訓練士について学ぶ	習い事の月謝
2020年	12(小6)	小学校卒業	
2021年	13(中1)	中学校入学	
2022年	14(中2)	犬のことを勉強する種類を少しずつ覚える	
2023年	15(中3)	中学卒業・高校受験	↓
2024年	16(高1)	高校入学・福祉について	授業料
2025年	17(高2)	目の不自由な人について勉強する。	生活費
2026年	18(高3)	高校卒業	↓
2027年	19(専1)	国際ペット専門学校に入学	入学金・授業料
2028年	20(専2)	動物愛護団体に入る	授業料
2029年	21(専3)	専門学校卒業!	生活費
2030年	22	ドッグトレーナー(補助犬)	
2031年	23	に就職!(訓練士)	
2032年	24	補助犬を育てる	社会 その他
2033年	25	補助犬第一号完成	犬に必要な お金
2034年	26	補助犬を通して体の	
2038年	30	不自由な人に笑顔をとどける!	↓